

ワークタイムを彩る
OBP Style
OBPスタイル

obp.gr.jp/obpstyle/

「OBP Style」について

OBP StyleはOBPエリアで起こっていることを取材し新たな魅力を掘り起こすWebマガジンです。

OBPがどのようなエリアであるか、今どんなトレンドが起こっているかを、エリアの外へいる方へ向けて発信するとともに、OBPで働く方々が自身の働くエリアを知ることによって愛着を持ち、日々充実を感じられるようになることを目指しています。

運営：一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会

製作：株式会社まなねば（OBPアカデミア）

デザイン・取材・文：宮内めぐみ（そうそう！）

※掲載している店舗は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業時間を変更している場合があります。

※掲載情報は2022年3月時点のものです。変更されている場合もあります。

2022年3月31日発行

大阪ビジネスパーク協議会

Webサイト



アンケート募集中！
本誌のご意見・ご感想をお聞かせください。



「今日」がいつも新しい。

知るたびに好きになる、OBPの魅力

オオサカ

ビューライズ

パーク本



OBPStyle

自分のなかの 新しいオオサカビジネスパーク を求めて旅をする。

朝日が大阪城と背の高いビルを照らし出す。

人の気配が増える頃、川の水面はキラキラと陽の光を反射させ、水鳥もぶかぶかと移動を始める。

青い空が広がる中で草木は揺れ、整然と並ぶ建物と樹木のコントラストを眺めると、アートもそっと融合している。

ガラスに反射した真っ赤な夕陽は一日の終りを知らせ、やがて灯りの粒が静かな街の形を見せ始める――

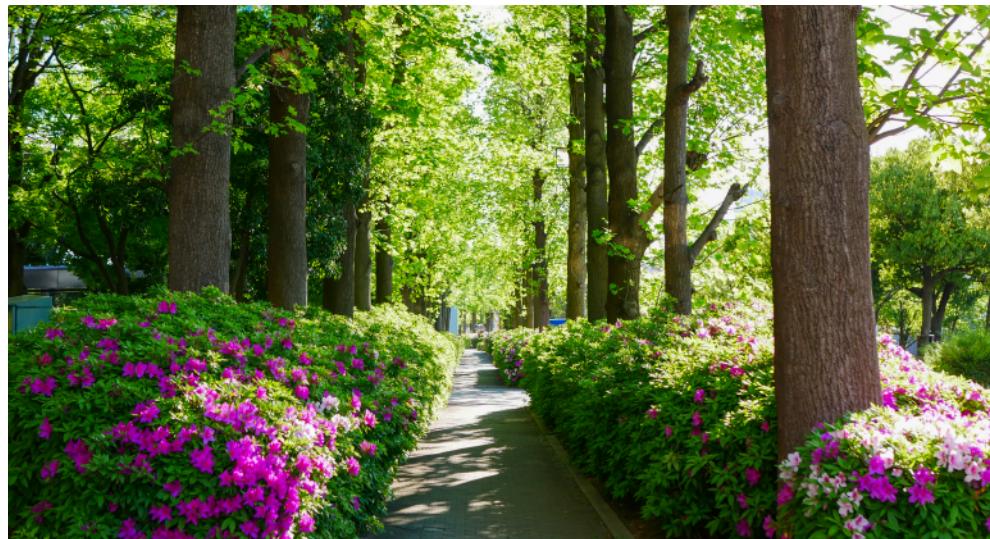
働く人ひとが慌ただしく過ごす傍らで、大阪ビジネスパークは回り続けている。

日本の代表的な企業が軒を連ねるビジネス街でありながらも、隣には数々の重要文化財。

ビジネス・歴史・自然・文化・アート…様々なポテンシャルを多く秘めたこの場所は、

季節や見る人次第で、発見が無限大になる。

まずは身近な場所から「新」を見つける旅をしよう。



ビル群が立ち並び、日本を代表する企業が集積するOBP。水と緑の自然が織りなすビジネス街は唯一無二である。

あっちこっちに 一流芸術家の作品。 OBPは“散歩でめぐる美術館”

OBPのまちづくりにおいてビルを建てる際は、モニュメントを置くと定められています。

これは、1935年大恐慌後のアメリカで生まれた、公共建築の建設費1%をその建築物に関連付随する芸術・アートのために支にする「1% FOR ART」の思想がベースとなっています。

パブリックアートが所々に点在するのも OBPの魅力の一つです。

ツイン21ビル「アトリウム」の2階からの眺めは、ガラスの向こうに大阪城がフレームインする。2021年に新設されたアトリウムのベンチで、コーヒーを片手に一服するのもオツ。

Profile No.1

未来門

(ツイン21 南プラザ)



門真から大阪城へ
開かれていった門が

パナソニックが本社拠点とする門真と大阪城天守閣を結んだ線上に建つツイン21。未来門の真下に立ってビルを見上げると、2棟のビルが均等に左右に並ぶ姿に圧倒され、背後には大阪城が位置する、その緻密な計算に脱帽。



Profile No.2

10ball (テンポール)

(読賣テレビ放送)

待ち合わせはココで決まり！



読売テレビ社屋の正面入口前にある、あのオレンジ色のボールを知る人も多いだろう。読売テレビは「10」チャンネル。そして「ボール」は「ytv」のロゴにも描かれている丸いマークから来ており、ボールが弾む様子は、社員の弾ける想い・ワクワク感を表現している。OBPの目抜き通りであるパークアベニュー側に置かれ、北は京橋駅、南は大阪城公園駅から来る人々にとっての、新たな待ち合わせスポットになっているようだ。

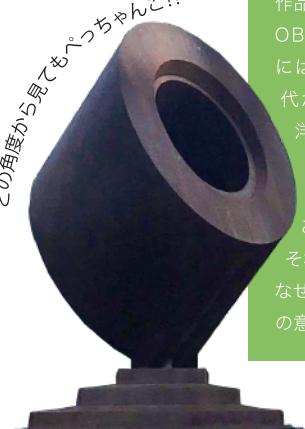


Profile No.3

HOMMA DEKKA (ホンマデッカ)

(クリスタルタワービル)

クリスタルタワービル前に堂々と構えている大砲のようなモニュメントは、世界的彫刻家である流 政之氏の作品。OBPエリアには、明治時代から太平洋戦争までの間、大砲や軍事車両などを製造する砲兵工廠が置かれていた。このモニュメントは大砲を表すのか、それとも別のメッセージがあるのか、なぜホンマデッカというのか…作者の意図は何が“ホンマ”なのだろうか。



ついに来た!
OBP初の美術館!



Profile No.4

山王美術館

(ホテルモントレ ラ・スール大阪敷地内)

ついにOBPに美術館が誕生する。ホテルモントレ ラ・スール大阪のガーデンチャペル跡は、2022年9月2日(金)「山王美術館」として生まれ変わる予定! 仕事帰りの寄り道を望んでいた方も多いのではないだろうか。グランドオープンが待ち遠しいところ。



OBPエリアで起こっていることを取材し新たな魅力を掘り起こすWebマガジン「OBP Style」では、ほかにもエリアに潜むモニュメントを紹介しています。詳しくはWebサイトでお楽しみください。



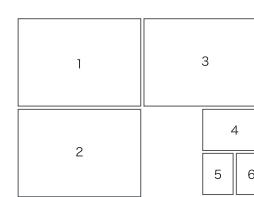
水と緑に囲まれて
ひとり時間の質を上げる癒しスポット

OBPは「水と緑に囲まれたビジネス街」というブランド力を持っています。
広い空の下、静かに流れる水の流れや風に揺れる木々の中で、ひとり静かに自分と向き合う。
そんなマインドフルネスな過ごし方で心や思考を整える時間を取ってみませんか？



ツイン21 南プラザ

1:川に沿ってベンチが設置されているので、OBPワーカーに欠かせない憩いの場となっている。ベンチに座り空を仰ぐと気持ちも晴々。

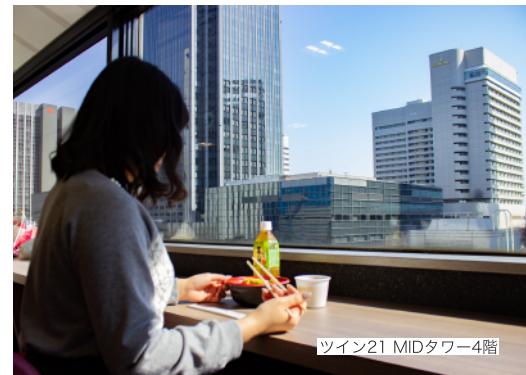


- 2:ビルに囲まれたオアシスはツイン21の「南プラザ」。過ごしやすい季節は人工芝で靴を脱いで座ると開放感MAXな休憩時間に！
3:様々なデザインを楽しめる植栽は、花好きにたまらない！植栽のプロがシーズンごとに植え替えを行うので、通年植物を間近で愛ができる。

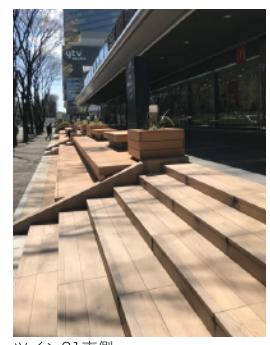
4:OBPのメインストリートを眺められるツイン21 MIDタワー4階の休憩室。整然と並ぶビルの建築美を楽しめ、クリエイティブな時間を過ごせそう！

5:2019年に完成のこの場所は、お昼ごはんを買った後すぐに利用できて便利。近隣住民の方も利用され、時々OBPワーカーとの交流が生まれる場所に。

6:人が少ない穴場のスポット。車道からも離れているので、静かに過ごしたい時はオススメです。大阪城を望めたり、鳥など種々の生物も眺められる。



ツイン21 MIDタワー4階



城見緑道公園

癒やしスポットでティクアウトランチを楽しもう！様々な休憩スポットを「OBP Style」でご紹介しています。



vol.36 | OBPのランチ大調査
「お手頃価格&ポータブルで楽しむランチ特集」編



vol.40 | テイクアウトで、ほんのりピクニック
ビジネス街でも屋外ランチが120%楽しめた！



眺め良し！ランチ3選

仕事の日こそ楽しんで！

OBPで働く特権は、なんと言つても景色。大阪城や、桜や紅葉を眺めることのできるランチは、お昼ごはんの満足感をぐーんとアップさせること間違いなし！ 目で見て、舌で味わって、毎日仕事を頑張る自分にご褒美を。



叙々苑 游玄亭 ホテルニューオータニ大阪店

15年前、首都圏以外で初出店となったのがホテルニューオータニ大阪店。誰もが知る高級焼肉店「叙々苑」の、「五感で味わう」コンセプトのレストランが游玄亭。大阪城と一面の桜のコンビネーションで四季を感じて焼肉を楽しめるのもこのお店ならでは。日々、味の進化を追求するという、妥協のないその姿勢が生み出す美味しさは体験すべき必須事項！



〒540-0001 大阪市中央区城見1-4-1 ホテルニューオータニ大阪3F ☎ 06-6944-8989

④ ランチ 11:30~15:00(L.O.) / ディナー 17:00~21:30(L.O.) 休 無休

HP jojoen.co.jp/shop/yugentei/osaka/

F 游玄亭-ホテルニューオータニ



4月上旬はお店の前の桜並木が一斉にピンク色に。ランチ後は近くを散歩して帰るのもGOOD！



定食メニューは700円(税込)とお手軽。オススメは、日本唐揚協会主催「からあげグランプリ」で金賞を連続受賞した『からあげ 金と銀』との提携による「からあげ定食」！

Point
間近に迫るお城を眺める！

good spoon ジョーテラス店

どの席からも大阪城をハッキリ眺められる店内は広々として開放的。「ミートプラッター」(1人前2,068円税込)は最も美味しい焼き加減で、鶏・豚・牛をコンブリートできるグリルランチ。

春から夏にかけてのBBQ予約が既に埋まり出している人気店だが、平日のランチなら狙い目。これぞOBPで働く人の特権！



晴れた日の大阪城を眺めながらゆったりランチは癒やされそう！女性にはパスタやピッソアのランチも人気。

〒540-0002 大阪市中央区大阪城3-1 ジョーテラス2F ☎ 06-6450-6780
④ 11:00~22:00(L.O. 21:00) 休 無休

HP goodspoonjo.owst.jp
④ goodspoonjo.terrace



Point

OBPビルと桜のコントラスト！

レストラン・キャッスルリバー

2021年オープンのこちらは、OBPで働く人も知る人が少ない穴場的ランチスポット。春秋はパノラマの窓一面に広がる桜並木を楽しめる。また、窓際はOBPのビルと桜のコラボレーションや、水上バスが進んでいく姿など、OBPならではの景色も楽しめる特等席。運が良いと、クリスタルタワーに反射する大阪城を拝めるかも！？



〒540-0002 大阪府大阪市中央区大阪城3-1

☎ 06-6966-1328

④ 11:00~14:30(L.O. 14:00)

休 不定期

※大阪城ホールのイベントによって、営業日・営業時間が変更になる場合があります。詳細はInstagramからご確認ください。
HP castle-river.net
④ castleriver_jo_holl



まちを知ればOBPが
2倍、3倍と楽しくなる！

ワーカー参加型の活動

OBPでは、ワーカー参加型の活動も活発に行われています。賑わいあるOBPのまちづくりを考えている「OBP協議会」がテーマごとに活動を運営し、活動ごとにOBPで働く皆さんも参加しています。まちを想うワーカーの皆さん、会社の枠も超えて交流できる機会となるまちづくり活動をご紹介します。



2021年10月OBPエリアに新たな花壇が誕生。花壇名はワーカーの皆さんからの公募により『OBP Blooming Place』に決定。自生しているかのような「ナチュラリストイックガーデン」としてオーナメントグラスや花をミックスした設計に。開花時期も様々な種類を植えることで、年間を通して植物の生長を楽しむことができるようになっている。暖かい季節には蝶などの生物もやってくるので環境共生も考えられた豊かな花壇である。見守ることもひとつの参加方法！みんなでOBPの花を育てていこう。

OBP Blooming Place
植栽の詳しくは
Webでチェック！



●環境美化活動(駐輪マナー対策と清掃活動)

「リバーサイドプロムナード清掃活動」(毎週木曜日実施)と「駐輪マナー＆クリンアップキャンペーン」(年4回)は、立地企業とエリアワーカーの協働により実施されている美化活動。朝活として参加する方からは「週に1回が丁度よいし、気持ち良く1日が送れるのでオススメです」との声も。



●灯りでOBPに彩り

2021年9月・12月に2回、灯りの実証実験としてツイン21の前のメインストリートがライトアップ。街路樹で美しく華やかな景色が誕生し、写真撮影する人の姿も。楽しげな夜の景観が生まれる灯りの実証実験は今後も継続予定。実施の際は「城まちosaka」SNSからお知らせするので要チェック！



●大規模地震に備えたエリア防災訓練

大規模な地震発生を想定し、毎年「情報伝達訓練・帰宅困難者避難誘導訓練」を実施しているOBP。各ビルから2~3名が防災担当スタッフとして選出され、被害状況の情報伝達、エリア内の共助などを年に数回会議を重ねる。企業の垣根を超えた協力体制で、災害に強いまちを目指している。

■ OBP協議会について

一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会は、13社からなる構成メンバーによって「都市再生部会」「環境共生部会」「安心安全部会」の3つの柱でエリアの魅力創出とまちづくり活動を行っています。

■ 城まちosakaについて

「城まち」とは大阪城の北東から東側にかけてのエリアで、大阪城が一番よく見えるエリアのことと言います。城まちosakaのSNSでは、大阪ビジネスパーク・大阪城公園・京橋エリアの地域情報を発信しています。まちづくりの活動、グルメ情報、一年を通して季節ごとに美しい表情を見てくれるOBPの魅力的な一面をお届けします。



@shiromachi_osaka



@shiromachiosaka



@shiromachi